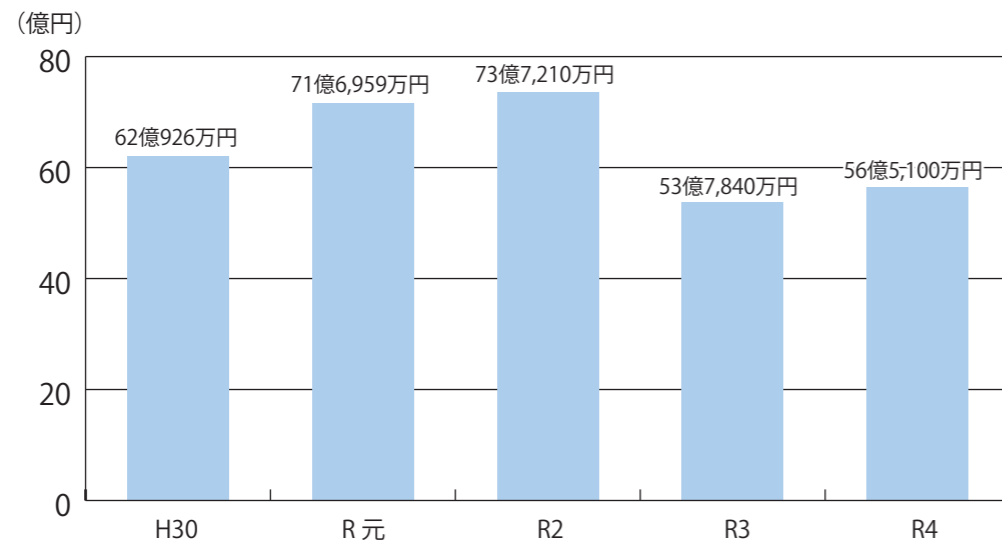


## ●一般会計当初予算

# 56億5,100万円

令和4年度の当初予算は、予算総額は56億5,100万円となりました。前年度に比べると2億7,260万円(5.1%)の増となりました。

## ●一般会計予算額の推移



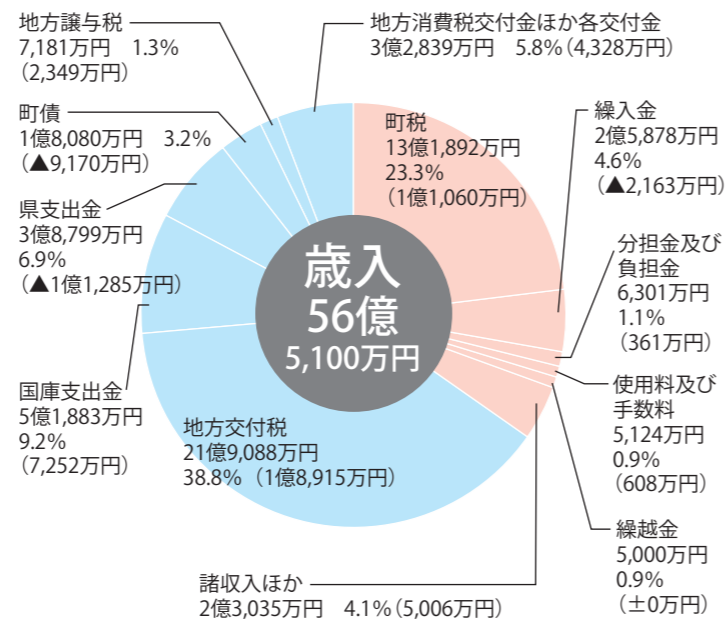
## ●歳入の特徴

### 【自主財源】

歳入の約35%を占める自主財源は19億7,230万円、前年度比1億4,872万円の増額を見込みました。その主な要因は、財政調整基金繰入金の抑制に努めた一方、立地企業の設備投資に伴う固定資産税の増額、ふるさと納税の増額を見込んでいます(内訳はグラフのとおり)。

### 【依存財源】

歳入の約65%を占める依存財源は、36億7,870万円、前年度比1億2,388万円の増額を見込みました。主な要因は、仮置場解体等除染関係事業の完了により県支出金が減額、臨時財政対策債の大幅な減により町債が減額となる一方、復興特区(工業団地)の課税免除に伴う財政措置として地方交付税の増額、新型コロナウイルスワクチン接種関係の増による国庫支出金の増額を見込んでいます(内訳はグラフのとおり)。



※%は総額に占める構成比  
( )は対前年度増減額を表示

自主財源	19億7,230万円(1億4,872万円)
依存財源	36億7,870万円(1億2,388万円)

## ●歳出の特徴

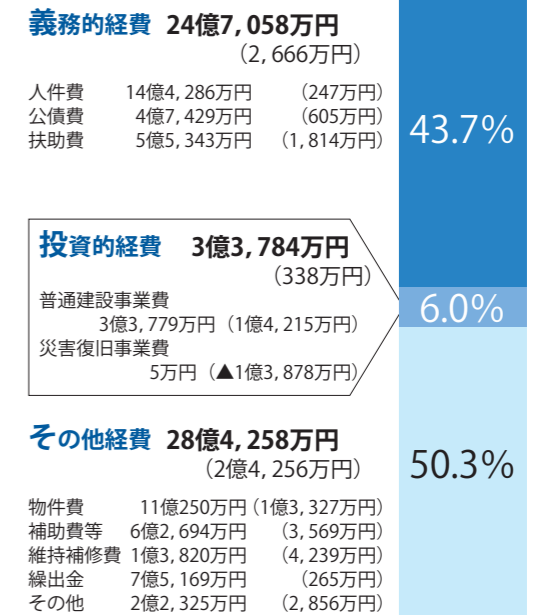
### 【目的別歳出】

歳出を目的別にみた通常分の内訳について、下段のグラフのとおりです。民生費、総務費、教育費の順に多くなっており、民生費では「子育て支援事業」・「障がい者支援事業」・「高齢者福祉事業」、総務費では「歴史まちづくり事業」・「ふるさと納税推進事業」、教育費では「学力向上対策事業」へ多くの予算を配分しています。

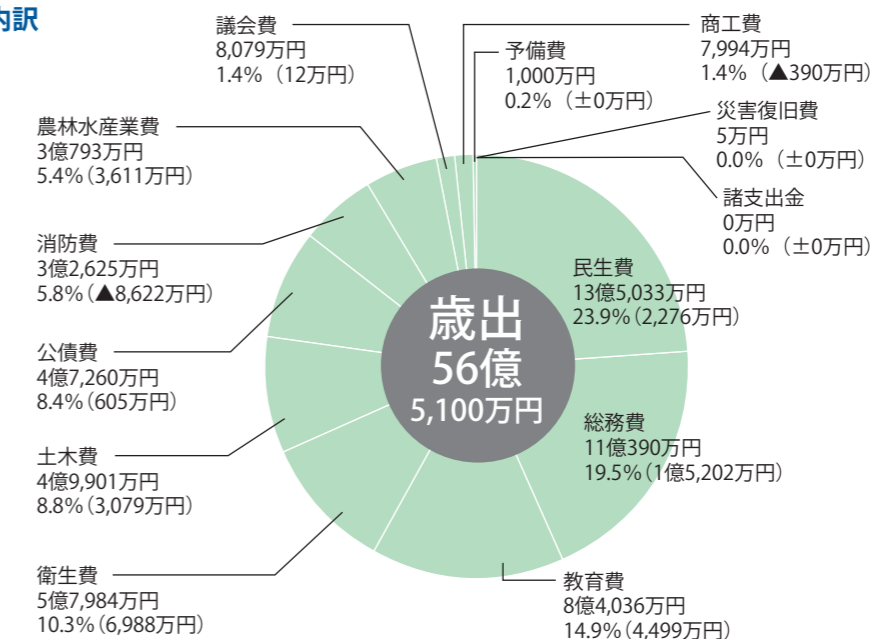
### 【性質別歳出】

性質別にみた歳出の内訳について、右のグラフに示したとおりです。前年度からの増減額の大きなものとして、災害復旧費は仮置場解体等除染関係事業の完了により減額となる一方、普通建設事業費は避難所となっている小学校の蓄電池更新事業や釀芳幼稚園北園舎防水改修事業により増額になっています。また、デジタルトランスフォーメーションの推進や新型コロナウイルスワクチン接種関連費により物件費が増額となっています。

## ■性質別歳出内訳



## ■目的別歳出内訳



## 【主な用語説明】

- 【一般会計】** 福祉や教育・土木といった一般的な事業に使われ、町の事業の基本となる会計
- 【自主財源】** 町税や使用料など、町が自主的に収入できるお金
- 【依存財源】** 地方交付税など、国や県の意思によって額が決められ割り当てられるお金
- 【一般財源】** 町税や地方交付税等、使い道が特定されないお金
- 【特定財源】** 国庫・県支出金、繰入金、町債および使用料等、使い道が特定されるお金
- 【町税】** 町民の皆さんが町に納める税金
- 【繰入金】** 各種基金の取崩しや他会計から繰り入れるお金
- 【地方交付税】** 自治体の財政力に応じ、国から交付されるお金
- 【国庫・県支出金】** 特定の目的のために国や県から交付されるお金
- 【町債】** 国や銀行などからの借入金
- 【義務的経費】** 歳出のうち、その支出が義務付けられ、簡単に削減できない経費
- 【投資的経費】** 社会的資本の整備を進めるための経費
- 【扶助費】** 児童や高齢者、生活困窮者を援助するために使うお金
- 【物件費】** 委託料、旅費などに使うお金
- 【繰出金】** 他会計や各種基金へ繰出すために使うお金
- 【補助費等】** さまざまな団体への補助金、負担金などに使うお金
- 【地方消費税交付金】** 県税として集められた地方消費税のうち、市町村に分配されるお金
- 【普通建設事業費】** 道路、学校、公園などの公共施設の新設・増設などに使うお金
- 【臨時財政対策債】** 地方財政収支の不足額を補てんするため、自治体が特例で発行し、その返済額については全額地方財政措置される特別な町債